



山 鐘

～第1回「山の日」記念全国大会 登攀の記録～

"SANSYOU"～The Record-book of the Inaugural National Ceremony for Mountain Day～



第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

名誉顧問：谷垣禎一

顧問：衛藤征士郎 安藤宏基

名誉会長：阿部守一

会長：菅谷昭

副会長：松沢哲郎 上條敏昭 中島恵理 坪田明男

構成員：(一財)全国山の日協議会 長野県 松本市 上高地町会 警察庁 消防庁 文部科学省
スポーツ庁 林野庁 国土交通省 観光庁 環境省 上高地観光旅館組合
北アルプス山小屋友交会 松本市アルプス観光協会



菅谷 昭

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 会長
松本市長



阿部 守一

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 名誉会長
長野県知事

上高地から 山の未来に向けて

記念すべき第1回「山の日」記念全国大会を長野県松本市において開催し、この度その集大成とも言うべき本誌「山鐘 ～第1回「山の日」記念全国大会 登攀の記録～」を刊行できますことは、誠に大きな喜びであり光栄に存じております。大会前後1年間余りの取り組みを収録し、大会に込めた思いを伝える「記録誌」として、多彩な式典行事等の様子を次代に語り継ぐ「歴史書」として、また初めての「山の日」を国内外に広く発信する「広報誌」として、皆様方におかれましても幅広くご活用いただければ幸甚に存じます。

2日間に渡り上高地及び松本市街地で開催した各行事には、延べ17,360人の方々がご来場くださいました。

8月11日の「山の日」には上高地会場において、皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下のご臨席を仰ぎ、各国大使館関係者の皆様をお招きして、晴れ渡る空のもと記念式典を厳粛の中にも、盛会裏に挙行することができました。皇太子殿下からは、「山の日」制定に込められた多くの方々の思いや、次代を担う子供たちに寄り添ったおことばを頂戴し、大変深い感銘を覚えた次第でございます。

山への感謝の思いを表現した多彩なプログラムのもとに盛大に開催した祝祭式典や、「山岳ユニバーサルツーリズムの推進」をテーマとした「山の日」制定記念国際フォーラム、上高地・松本城公園両会場における信州四方山祭りなど、大会期間中の全ての行事、また1年を通して県内外において行われた各関連行事を通じ、幅広い世代にわたる多くの方々にとって「山の日」が身近なものとなったことは誠に大きな成果であり、大会開催の意義深さを改めて痛感しております。

世界初の山を対象とした国民の祝日である「山の日」。前例のない大会を作りあげる過程は、まさに高く険しい未踏の山に挑戦するかのごとく、困難を伴いながらも、皆様からのあたたかなご支援、ご指導のもと一步一步進んで参りました。今後は栄えある第1回大会開催地としての誇りと責任を胸に、山を慈しみ、山を労わり、山を活かす取り組みを進めるべく、これまで以上に努力を重ねて参る所存でございます。

大会開催に当たりご尽力をいただいた関係者の皆様、「山の日」に関心を寄せ、大会を応援して下さった国内外の皆様、併せて本誌の発行にご協力をいただいた全ての皆様に改めて厚く御礼を申しあげ、私たちに心豊かな暮らしを授けてくれる山を次代へ引き継いでいく決意を新たに、刊行に当たってのご挨拶といたします。

山の価値や魅力を信州から世界へ

夏山シーズン真っ盛りの爽やかな風薫る信州にて、皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下のご臨席を仰ぎ、8月10日・11日の2日間にわたり、新たな国民の祝日「山の日」を記念した全国大会を盛大に開催し、県内外から約1万7千人の方々のご参加を得て、成功裏に終えることができました。

長野県は、我が国有数の「山岳県」です。全国に23座ある3千メートル級の山々のうち、奥穂高岳、槍ヶ岳など北アルプスの9座を含む、実に15座が本県にあり、「日本の屋根」とも称されております。

こうした山々を水源とする豊富な水は、多くの生き物たちの命を育むとともに、本県はもとより下流域の都市部へもその恩恵をもたらしています。

そのような中、本大会においては、「山と人」との関わり方を見つめ直し、次代を担う子どもたちと一緒に「山の未来」を創造する第一歩とすることなどを理念として、山に関する様々な行事を開催しました。

8月10日には、子どもや高齢者や外国人、障がいのある方々をはじめ、誰もが山に親しむことができる山岳ユニバーサルツーリズムをテーマとした「山の日」制定記念国際フォーラムなどを松本市内で開催しました。翌11日午前には、上高地において記念式典を開催し、抜けるような青空の下、セイジオザワ松本フェスティバルプラスアンサンブルの皆様による「山の日」制定を記念した演奏や山への想いを伝えるメッセージなどが披露されました。

また、午後には、まつもと市民芸術館で祝祭式典を開催し、二山治雄氏と白鳥バレエ学園の皆様による「山の日」を祝う演舞や山の恩恵とともに暮らす方々による山に関する感謝のスピーチなどが行われました。

これにより、長野県に暮らす私たちだけではなく、信州の山にお越しいただく皆様にも、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止など多面的機能を有する山の価値や観光資源としての魅力を全国に向け発信することができたものと考えております。

この大会を契機に、長野県が将来にわたり世界中の人々から愛される山岳県となるよう、山の保全や活用に引き続き全力で取り組むとともに、国内外の皆様へ「山なら信州」、「アウトドアを楽しむなら信州」と言ってもらえるよう、「山岳高原」を活かした世界水準の滞在型観光地づくりをさらに一層進めてまいります。

結びに、本大会の開催に当たり、大変なご尽力を賜りました、谷垣禎一会長をはじめ全国山の日協議会の皆様、衛藤征士郎会長はじめ「山の日」議員連盟の国会議員の皆様、山本公一環境大臣はじめ関係省庁の皆様、地元松本市をはじめ、ご協力いただいた市町村、企業・団体の皆様などすべての皆様から心からお礼を申し上げ、発行のこぼれといたします。

「山鐘」とは

「鐘」は、古くから登山者にとって山小屋の在り処を知らせる安らぎのものであり、明日への意欲をかきたてる力の源でもありました。

今ここに、山の日の誕生を迎え、記念となる全国大会を開催するにあたり、その開幕と閉幕に鐘を鳴らし、改めて山や山に関わる人々に思いを巡らし、山への感謝の気持ちをもちたいと願い、これを「山鐘」(さんしょう)と名付けました。

「山鐘」に込める思い

第1山鐘	山の日の誕生を祝う思い
第2山鐘	山に親しむ機会を得ることへの思い
第3山鐘	山、その恩恵に感謝する思い
第4山鐘	山を慈しみ労わり活かす思い
第5山鐘	水や木など山の恵みを大切にする思い
第6山鐘	花や鳥、蝶など山に棲む生き物たちを大切にする思い
第7山鐘	山を愛する人への思い
第8山鐘	山で亡くなられた方々への思い
第9山鐘	来年の大会の成功への思い
第10山鐘	大会に参加された全ての方の幸せへの思い
第11山鐘	明るく豊かな山の未来を子供たちに託す思い

「山鐘」する

8山鐘	式典の開幕を告げる	第1山鐘から第8山鐘まで
11山鐘	式典の閉幕を告げる	第1山鐘から第11山鐘まで



大会ロゴマーク



大会理念等を象徴し、大会の開催や山の日制定の趣旨等を、国内外に効果的に発信するためのロゴマークを制作した。制作にあたっては、山の未来を担う子供たちとともにつくりあげていくことを基本方針として取組んだ。

【大会マークの制作】

大会マークの図案のデザインは、大会開催地の地元、松本市立安曇、大野川、奈川小学校の児童と取組んだ。3月に図案検討のワークショップを開催、23名の児童が出席し、切り絵を作るように、山に関係のある素材のモチーフを、色紙を切って重ねていく手法で考案した。

【監修・決定】

子供たちのデザインを極力活かした形で、デザイナーの小野圭介さんがまとめ、4月の第2回実行委員会で最終選定、キャッチフレーズを組み込み、大会ロゴマークとした。



小野 圭介さん

【ロゴマーク解説】

全体の色調は、山々を象徴する緑色を基調とし、上部にはキャッチフレーズの最優秀作品を組み込んだ。大会名は小野デザイナーがデザインした象形文字で、「山」は上高地の山嶺をイメージしている。



吉原 久瑠実さん

【キャッチフレーズ】

全国の子供たちの「山への想い」を表現するため、全国の小・中・高校生から公募した91点の応募作品から、長野市の吉原久瑠実さん(当集中1)の作品「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」を最優秀賞として選定し、ほか5点を優秀賞に選定した。

山と共に ～人と自然がつながる社会へ～

【デザイン】松本市立安曇、大野川、奈川小学校児童有志 【監修】小野圭介デザイナー(ONO BRAND DESIGN代表)

【キャッチフレーズ】吉原久瑠実さん 【制作企画】エービーシー(株)

「山の日」制定と開催地決定

「山の日を作ろう」という動きは、昭和36年に富山県で開催された「夏の立山大集会」まで遡るが、本格的な取り組みは、平成22年4月、山岳5団体による「『山の日』制定協議会」の発足から始まった。その後、平成25年11月に、国民運動として「山の日」制定を強力に進める「全国『山の日』制定協議会」(法案成立後「全国『山の日』協議会」に改称)(以下「協議会」という。)設立へと進展した。

一方、平成25年4月には、超党派の国会議員による「『山の日』制定議員連盟」(以下「議員連盟」という。)が発足、具体的な法整備に向けての精力的な研究等がはじまり、同年9月には、上高地での研修合宿も行われた。

協議会と議員連盟とがまさに車の両輪としてご尽力され、平成26年5月23日、参議院で祝日法改正案が可決、「8月11日」が16番目の国民の祝日「山の日」として誕生した。



参議院本会議での「山の日」祝日法案可決の瞬間(H26.5.23)



超党派「山の日」制定議員連盟の上高地研修合宿(H25.9.9~10)

長野県は、県土の8割を森林が占め、広大な県土に3つのアルプスがそびえ立つ、まさに日本の屋根とも言える「山岳県・信州」であり、松本市は、日本を代表する「山岳都市・岳都(がくと)」を標榜する。山の日制定を受け、平成27年3月に開催された議員連盟と協議会の合同会議で、初めての「山の日」を記念する全国大会の開催地は、長野県松本市上高地がふさわしいとした見解が示され、同年5月には、長野県、松本市及び上高地町会が連名で、議員連盟と協議会へ、上高地での全国大会開催誘致の要望書を提出し、協議会通常総会で、上高地を第1回記念全国大会の開催地とすることが承認された。

大会の推進体制

実行委員会

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会は、国、県、市及び地域団体等の15の機関で構成し、大会の計画・策定及び予算案の協議・承認、大会当日の運営、広報活動等を担った。

【総会開催状況】

総会	期日	場所	内容
設立	H28.1.8(金)	都道府県会館(東京都)	実行委員会の設立
第1回	H28.1.8(金)	都道府県会館(東京都)	基本計画、事業計画及び収支予算案の承認
第2回	H28.4.28(木)	都道府県会館(東京都)	実施計画、大会ロゴマーク及び収支補正予算案の承認
第3回	H28.7.14(木)~15(金)	上高地及びホテルプエナビスタ(松本市)	現地調査の実施、実施体制等詳細計画の承認
第4回	H28.12.27(火)	都道府県会館(東京都)	大会実績、収支決算、記録誌編纂、実行委員会解散の承認



設立総会 衛藤征士郎顧問あいさつ



第1回総会 谷垣禎一名誉顧問あいさつ



第4回総会

運営委員会

運営委員会は、実行委員会の現地機関として、(一財)全国山の日協議会、国の現地機関、上高地町会、長野県、松本市の代表者で構成し、総会提出議案をはじめ具体的な大会運営について検討を重ねた。(開催回数:5回)

【主な検討項目】

- ・大会スケジュール、大会ロゴマーク、広報・渉外計画、実施計画素案、大会行事、実行体制
- ・実績報告、記録誌編纂、決算報告、実行委員会の解散等

【委員】

(一財)全国山の日協議会理事長、長野県林務部森林政策課長、松本市商工観光部部長山の日記念大会推進室長、環境省松本自然環境事務所長、林野庁中部森林管理局中信森林管理署長、国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所長、上高地町会長、松本市商工観光部山の日記念大会推進室次長

大会の準備及び式典行事の運営スタッフとして、実行委員会構成機関(長野県・松本市等)の職員と協賛企業・地域の旅館組合・山岳関係団体・医療機関等の協力を得て、総勢785名(大会期間中:740名)の実施本部体制を整備し、来場者の接遇や受付対応、交通整理、地域住民対応等を行った。

協賛企業の(株)finetrack(上高地会場)と(株)モンベル(松本市街会場)の提供による大会ロゴマーク入りのスタッフウェアを着用し、スタッフの視認性の向上と山行きの服装による演出効果を高めた。

【本部別人員数】

組織名	人数
上高地会場 統括本部	205名
松本会場 統括本部	292名
招待接遇 統括本部	84名
輸送管理 統括本部	121名
大使館 統括本部	11名
総合情報管理 統括本部	9名
国際会議 統括本部	18名
合計	740名



大会招待者の宿泊

記念式典とあわせて、山岳リゾート地である上高地の自然環境を存分に楽しんでいただくため、式典出席者約400名のうち約8割以上のお客様に前日からお泊りいただいた。

大会招待者の宿泊は、上高地観光旅館組合の全面的な協力を得て、主に大正池から河童橋地区の宿泊施設が担った。また、一部の招待者やスタッフ等は、日本山岳会や日本山岳ガイド協会の研修施設や中の湯や徳沢、松本市街の宿泊施設にも宿泊した。

宿泊施設数	8月9日(火)	8月10日(水)	8月11日(木)
	宿泊室数	宿泊室数	宿泊室数
13施設	16	288	9

※大会提携宿泊施設の大会関係者宿泊室数



大会宿泊者の受入体制

上高地内では、到着から各施設までを案内する接遇係を配置し、招待者の対応にあたった。また、宿泊施設には、大会スタッフによる専用案内デスクを置き、大会の案内や、式典会場への入場IDカードの発行、大会記念品の事前配付等を行った。

輸送・地域対応

アルピコ交通(株)等の交通関連企業等と連携して松本市街地から上高地までの輸送計画を策定し、大会参加者の移動の円滑化と地域交通網への影響緩和等の対応を行った。

交通上の様々な課題に対し、地域旅館組合、交通関連企業及び長野県警察本部等の協力を得て、長距離の輸送行程やマイカー規制中での送迎、通行時間帯の制限、大型車両の通行方法、大会関係者全体の輸送規模及び上高地内での駐車スペースの確保等を行い、安全で円滑な輸送を実現した。

また、大会期間が夏休み中の観光シーズン最盛期と重なり、地域住民や観光客への影響を緩和するため、事前に交通渋滞等の周知看板を設置するとともに、大会期間中は松本市安曇支所に総合情報管理部を設置し、24時間体制で交通情報や大会情報の提供、各種問い合わせ等への対応を行った。沢渡バスターミナルでは協賛企業の中日本エクス(株)と連携し、交通案内ブースを設置し駐車場利用者への周知等を図った。

なお、今大会は台風等による荒天時対応用のプログラムを用意し、輸送・地域対応準備を整えていたが、幸いにも好天に恵まれ、通常通りの体制で臨んだ。



交通案内看板の掲示

コラム:山の日弁当

今大会用に2種類のお弁当を特注しました。製造は(株)王滝にお申し、信州の食材をふんだんに使った彩り豊かなお弁当ができました。



広報活動

「山の日」の制定趣旨や大会内容を多くの皆様に知ってもらい、山の国信州・岳都松本の山岳文化等の魅力を国内外に発信するための広報活動を行った。

- 【広報グッズ】大会オリジナルグッズの製作・配布：11種類
- 【ポスター等】県内の公共施設・観光関連施設・協賛企業窓口・コンビニエンスストア等に設置：
チラシ12万枚・ポスター1.8万枚
- 【横断幕等】JR松本駅：横断幕 JR長野駅：大型フラッグ
松本市役所：懸垂幕・記念撮影ボード 松本市街：大会告知看板・下げピラ等
- 【インターネット】大会専用ホームページ・公式SNS(フェイスブック・インスタグラム)による情報発信



報道機関等の各種広報媒体を通じて情報を発信するとともに、全国各地で行われた山やアウトドアに関連したイベント等に参加して大会をPRした。出展ブースではロゴマークのモチーフのシールを用意し、ご来場の皆様に「山への思い」を書いていただき、「山の日2016.8.11上高地」とデザインしたボードへ貼りつけ、「山へのメッセージボード」を作成した。このメッセージボードは大会当日上高地インフォメーションセンター前に飾り、皆様の思いを山へ届けた。



- 【各報道機関】メディア各社とのタイアップによる特集番組・記事の制作等
- 【イベント出展等】県内(11回)・県外(東京・愛知・大阪・福岡)でのブース出展等
- 【その他】○国・県・市の各公式サイトや広報誌による情報発信等
○松本市観光大使による情報発信
○海外メディアツアーの開催
○NEXCO中日本とのタイアップ企画 他



オープニングセレモニー(松本城)

8月10日(水)10:00~10:40 松本城公園特設ステージ

2日間の大会は、松本城公園特設ステージのオープニングセレモニーで幕を開けた。アルプホルンのファンファーレが鳴り響き、菅谷昭実行委員会会長から「この山の日をみんなで「山」について考える日にしていきたい」と、松本城公園に集まった大勢の人々に向け、大会の理念を伝えた。国の機関を代表し環境省の小林正明事務次官から来賓挨拶があり、環境省から(一財)全国山の日協議会を通じ実行委員会へ「山の日帽」が渡され式典行事がスタートした。この日を記念し、山の日制定記念切手と硬貨セットが実行委員会に贈呈された。



記念切手 贈呈者:日本郵便(株) 川野陽一信越支社長 硬貨セット 贈呈者:(独)造幣局 百嶋計理事長
アシスタント:2016年度ミス日本みどりの女神 飯塚帆南

歓迎レセプション

8月10日(水)15:30~16:30 ホテルブエナビスタ3階グランデ



上高地記念式典への招待者130名の皆様とともに、山の日制定を祝う歓迎レセプションを開催し、司会を本間香菜子さんが務め、山の国信州・岳都松本ならではの「山の恵み」を振る舞い、山の歴史と文化に触れてもらった。皇太子殿下に各テーブルをお回りいただき、招待者の皆様と山に関するお話して懇親を深められた。

信州ならではの山の恵みを提供

乾杯は地元産のすいかとナイアガラスパークリングワインを使った「すいかのカクテル」で信州のさわやかな夏を味わい、お食事は地域で採れた食材を使った信州ならではの料理を用意し、伝統食として山ぶどう葉寿司などを提供した。

ヴィオラ・ダ・ガンバの生演奏

ヴィオラ・ダ・ガンバのプロ奏者である品川聖さんによるソロ演奏で山の日の誕生前夜に山の話で楽しむ会場に華やかで優しい雰囲気增添了。



卓上を彩る山の恵み

山の恵みでおもてなしをするというテーマに沿って会場内の食材の説明パネルやランチョンマット等に「ツキ板」を活用し、美しい木目や自然の温もりを楽しむ演出を行った。



記念式典 ～山に親しむ～

8月11日(木)9:00～10:45 上高地バスターミナル駐車場 特設会場

「山の日」の制定趣旨の一つ「山に親しむ機会を得る」ことを具現化する上高地の屋外特設会場での開催と、先人が育んできた歴史と文化を次代に継承する内容のプログラムにより、「山」の魅力・価値を国内外に向けて発信するとともに、厳粛かつ品格のある式典として実施した。



プログラム

【プロローグ】

・8山鐘・さあ「山」へいこう(映像上映)・はじめまして「山の日」(映像上映)

【式典行事】

・「山の日」はじめのことば・国歌斉唱・「山の日」誕生あいさつ・主催者あいさつ
 ・歓迎あいさつ・皇太子殿下 おことば・「山の日」制定記念音楽演奏・伝えたい「山への想い」
 ・内閣総理大臣メッセージ・「山と共に」未来への誓い・「山の日」結びのことば

【エピローグ】

・山への第一歩

【皇太子殿下 おことば】



第1回「山の日」記念全国大会の記念式典に、皆さんと共に出席できることを大変うれしく思います。

「山の日」は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨に、平成26年に国民の祝日として制定されました。制定に尽力された多くの皆様に心から敬意を表します。

また、記念すべき第1回の全国大会が、山岳観光地として名高いここ長野県松本市上高地で開催されることは、山の日制定の趣旨を表現するにふさわしく大変意義深いことと思います。

私も、昭和42年に両親とともにこの地を訪れ、穂高連峰の雄大な景色に魅了され、そこから流れ出る梓川の清流に心癒されたことがなつかしく思い出されます。

我が国は国土の約7割を山地が占めており、私たち日本人は古くから山に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝し、自然と共に生きてきました。

また、長野県では登山学習という素晴らしい取組が脈々と受け継がれており、この大会のロゴマークも地元の子どもたちが制作にかかわったと聞きました。次代を担う子供たちに、山の素晴らしさや厳しさ、山の恩恵への感謝の気持ちなどをしっかりと引き継いでいくことが大切であり、「山の日」が明るく豊かな「山の未来」を創造する第一歩となることを願っております。

私自身、山に登り始めて50年程になりますが、山に登るたびに新しい発見や新たに学ぶことがあり、山の魅力は尽きることがありません。

このように山の日が誕生したことを機に、ここ上高地から山の恩恵を広く国内外に発信し、多くの人々が山に親しみ山の恩恵に感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り次の世代に引き継いでいくことを心より願い、あいさついたします。



【挨拶】左から：山本環境大臣、衛藤顧問、菅谷会長、阿部名誉会長、松沢副会長

【山と共に～未来への誓い～】

宣言！山と共に 未来への誓い

山は僕たち私たちの宝物。みんなここで生き、生かされています。きれいな山、自然や文化を守るために、山への恩返しとして、自分たちにできることから始めましょう！

人と山の未来はどうなるのでしょうか？「山の日」をきっかけにどうすれば山と人がよりよい友だちになれるか、考えましょう！

僕たち私たちは、子供、お年寄り、体の不自由な人、海外からのお客様もみんな願い、親しみ、楽しめる山、健やかで豊かな暮らしの源である山を未来へつないでいきます！



【「山の日」制定記念音楽演奏】

セイジ・オザワ松本フェスティバル プラスアンサンブルによる、「山の日」制定記念音楽演奏。「山の日」の誕生を祝うに相応しい、爽やかで軽快な音色が朝の上高地に響きわたった。

[国歌斉唱 伴奏]

[山の日制定記念音楽演奏]

○デュカス「ラ・ベリ」ファンファーレ

○ヘンデル「王宮の花火の音楽」より「序曲」「歓喜」

[エピローグ 山への第一歩]

○ドヴォルザーク「家路」

交響曲第9番「新世界より」第2楽章

○ロジャース「サウンド・オブ・ミュージック」より

テーマ、ひとりぼっちの羊飼い、エーデルワイス、ドレミの歌

上高地の代表的な植物の一つである「ニリンソウ」をかたどったコサージュを着装し、会場いっばいにニリンソウが咲き誇る様子を演出



【伝えたい「山への想い」】

世界で活躍する著名人の皆様から、「山に寄せる想い」をメッセージ映像でお寄せいただいた。



C. W. ニコルさん
作家、環境保全活動家、探検家



油井 亀美也さん
宇宙飛行士



小澤 征爾さん
指揮者

【内閣総理大臣メッセージ】

サブライズで、安倍晋三内閣総理大臣から大会にお寄せいただいたメッセージを読み上げた。



参加人数 約400名

皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下、各国大使館関係者、国会議員、姉妹都市、行政機関、山の日制定功労者、地元(地域)関係者 等

祝祭式典 ～山の恩恵に感謝する～

8月11日(木) 14:30～16:30 まつもと市民芸術館

「山の日」の制定趣旨の一つ「山の恩恵に感謝する」ことを具現化するため、市民が参加して身近な山の恩恵を伝える・感じることが出来るプログラムにより、初めての「山の日」を迎えるお祝いの雰囲気を感じられる華やかな式典として実施した。

プログラム

【プロローグ】

・「山の恵みに生かされて」(映像上映)・はじめまして「山の日」(映像上映)

【式典行事】

・「山の日」はじめのこぼし・国歌斉唱・主催者あいさつ・歓迎あいさつ・「山の日」の歌」表彰式

【おめでとう「山の日」】

・「山の日」誕生記念舞踏～山を魅せる～・「山の恩恵」とともに暮らす人々の声～山に授かる～

・「山の未来」を歌声に乗せて～山と共に、未来へのハーモニー

・つなげていこう「山の未来」リレーセレモニー・「山の日」結びの言葉

【エピローグ 盛り上がる「山の日」】

・山のコンサート・奈川獅子舞・11山鐘



【挨拶】左から：中島副会長、菅谷会長、阿部名誉会長、坪田副会長

主催者の挨拶や「山の日」の歌」の表彰式などの式典行事。

司会：平松奈々さん(アナウンサー)

【「山の日」の歌」表彰式】

一般財団法人全国山の協議会が公募した「山の日」の歌」作詞者への表彰。ポップス部門、演歌部門それぞれの最優秀賞と優秀賞の計4作品について、磯野剛太実行委員会運営委員長から表彰状と賞金(目録)を各受賞者に授与。



「山の日」の歌」

- 総合プロデューサー 船村 徹さん(日本作曲家協会最高顧問)
- 最優秀賞(ポップス部門) 「山はふるさと」 吉井 省一さん
- 最優秀賞(演歌部門) 「山・美しき」 関根 和夫さん
- 優秀賞(ポップス部門) 「山が笑ってら」 浦山 直己さん
- 優秀賞(演歌部門) 「四季の山」 川井 優文子さん



大会生花ロゴマークオブジェ
制作：(株)松本花市場



生け花 真流青山流家元
上條香月さん



「山の日」の書
手島泰六さん



参加人数 約800名

一般招待者、国会議員、長野県議会議員、松本市議会議員、都道府県、市町村長、協賛企業、地元関係者 等



【つなげていこう「山の未来」リレーセレモニー】

「山の日」を次期開催地へ引継いだ。
また「山の日」には、特別にあつらえた開催地を示すロゴマークピンバッジを付けている。
贈り手：菅谷 昭 松本市長 受け手：金田 尊男 栃木県環境森林部長



【おめでとう「山の日」】

「山の日」の制定を祝うために集った皆が「山の恩恵」を改めて見つめ直し、「山と人との関係」を未来へと引き継いでほしい。この想いを「山を魅せる」「山に授かる」「山と共に、未来へのハーモニー」という3種類の演出を組み合わせた複合芸術作品とも言えるプログラムで表現した。ナビゲーター：石丸謙二郎さん(俳優)



【シーン① 山を魅せる】

「山の日」誕生記念舞踏
四季の山の映像を背景に、バレエダンサーが「山の精霊」となって山を表現し、「山の日」の誕生を祝う。
出演：白鳥バレエ学園、二山治雄さん



【シーン② 山に授かる】

「山の恩恵」と共に暮らす人々の声
「山に授かる」と題し、大会ロゴマークにちりばめられた木、川、花、鳥、蝶、親子の各モチーフに因む人々からのメッセージ。
○三原栄一さん((有)アトリエエワン代表)
○大久保憲一さん(根羽村長、根羽森林組合長)
○唐澤和廣さん、西条雄真さん、三浦輝さん(上伊那農業高校)
○井野春香さん(狐師、けもかわプロジェクト代表)
○永田千恵子さん(森林倶楽部21代表)
○今井通子さん(登山家、医師)



【シーン③山と共に、未来へのハーモニー】

山と人のつながりを子供たちの歌に託し、未来へと繋げる。
曲目：美しいチロル、山はふるさと(山の日)の歌最優秀作品)
出演：波田少年少女合唱団

【エピローグ】

初めて迎えた「山の日」を振り返り、山と共に暮らしてきた人々の文化を伝えていく想いを込めた、大会のグランドフィナーレ

○山のコンサート

曲目：ガヴォット、きらきらばし変奏曲、ちょうちょう、フィオッコのアレグロ、ロングロングアゴー、子供の伴を 演奏：スズキ・メソード

○奈川獅子舞

富山県南砺市から松本市奈川地区寄合度伝わる市の無形民俗文化財で、村を荒らす大獅子と村人との格闘を表現する5演目のうち「きりかえし」「なぎなたどり」の2演目。
出演：奈川獅子舞保存会

○11山鐘

式典と大会の開幕を告げる鐘



信州四方山祭り in上高地

8月10日(水)11:00~20:30/11日(木)12:00~15:30
小梨平キャンプ場・徳沢キャンプ場

山の日の制定趣旨や今大会の理念を、音楽や講演など様々なプログラムを通じて日常的な目線で伝えていくことを目的にした記念行事を開催し、約6,900名の来場者の皆さんと楽しいひと時を過ごした。

【プログラム】(司会:本間香菜子)

10日/基調講演	講師	鈴木啓助(信州大学理学部 教授)
ヨーデルコンサート	出演	北川桜(ヨーデル歌手)
8.11プレトーク	出演	小林千穂(山岳ライター)
11日/コンサート	出演	品川聖(ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者)
コンサート	出演	芹洋子(歌手)
コンサート	出演	セイジ・オザワ松本フェスティバル プラスアンサンブル
8.11Birthday	出演	小林綾子(女優)、 小林千穂(山岳ライター)
山の日トーク		



信州四方山祭り in松本城

8月10日(水)10:00~16:30/11日(木)9:00~16:30
松本城公園特設ステージ・二の丸御殿跡広場

誰もが気軽に山に親しむ空間づくりをテーマに音楽や講演、ワークショップ、地元産すいかの振る舞いなどバラエティに富んだプログラムを行い、親子連れや観光客、市民など約8,100名の皆さんと賑やかな夏となった。



【プログラム】(司会:野村恵美)

10日/すいかの振る舞い(JA松本ハイランド)		
トークショー	出演	岡部和典(地質専門家)
山の音楽祭	出演	松本アルプホルンクラブ
山の音楽祭	出演	三上容実&高見澤一樹(アコースティックデュオ)
山の音楽祭	出演	葦木啓夏(シンガー)
山の音楽祭	出演	さい&かずら(フォークバンド)
11日/記念式典(上高地)パブリックビューイング		
トークショー	出演	花谷泰広(登山家・山岳ガイド)
書道パフォーマンス	出演	松本蟻ヶ崎高等学校書道部
山の音楽祭	出演	モチヅケンジン(ギターデュオ)
山の音楽祭	出演	走裕介(歌手)
ゆるキャラ@グランプリ2016エントリーキャラ大集合		
山の音楽祭	出演	ハーモ♥デュエ(アコースティックバンド)
両日/信州ゆるキャラ@ プチサミット		
		よもやま抽選会

「山の日」制定記念国際フォーラム

8月10日(水)12:30～14:00 あがたの森文化会館

「山岳ユニバーサルツーリズムの推進～子供・外国人・障がいのある方などが親しめる「山」へ～」をテーマに、大会に招待したイギリス、アメリカ、スイスなど雄大な山岳・自然環境を有する国々の皆さんと国際的な視点を含めた近年の動向を共有し、よりよい取組みを推進するための国内外のネットワークの構築をめざしたフォーラムを開催した。

【プログラム】(司会:工藤夕貴(女優) 萩原浩司(山と溪谷社主幹))

12:40/基調講演「山岳ツーリズムを目指す時代に」

講師 秋山哲男(中央大学研究開発機構教授)

13:00/国内外の山岳・自然を舞台としたユニバーサルツーリズムの事例報告

○中岡亜希(ata alliance代表[エーティーエーアライアンス])

○グレッグ・マルハーン(英国大使館 政治部参事官)

○アロン・ゴールド(米国大使館 経済部経済担当二等書記官)

○ブルーノ・ハウスヴィルト(スイス・グリンデルワルト観光局局長)

○中島恵理(実行委員会副会長(長野県副知事))

13:40/事例報告についての意見交換およびまとめ



秋山さんの基調講演では「その国の秀でたところ、すばらしい景色に出会い、訪れた土地で新しい発見をしてエネルギーをもらう。それは障がい者に限らず、誰もが旅に出る目的であり、そんな旅のありかたこそ、山岳ユニバーサルツーリズムのめざすべき姿ではないか。」と提言され、各国からも貴重な事例報告があり、中島副会長(長野県副知事)は「高齢者や障害者にこそ、長野県のすばらしい自然を体験していただけるよう、これからは『ようこそ信州へ』というおもてなしの心で山岳ユニバーサルツーリズムを推進していく」と締めくくった。



木育キャラバン

8月10日(水)10:00～17:00/11日(木)10:00～16:00
MIDORI松本(JR松本駅隣接施設)2Fフロア

山の恵みである木材を使用した「木のおもちゃ」や「あそび」を通じて木育を推進し、木製品の良さを普及啓発することを目的に、「木育キャラバン」を開催した。積み木やままごとセットから大人も楽しめるパズルまで約100点を超える木のおもちゃによる遊び体験を実施し、買い物に来た親子が木と触れる機会となり、参加者からは、「手作りの木のおもちゃに触れることで、身近な山の樹木に関心を向けるきっかけとなった」などの評価を得た。

主催 認定NPO法人日本グッド・トイ委員会

協力 第1回「山の日」記念全国大会実行委員会、MIDORI松本



山の日帽 -「山の日」の思いを次期開催地へ-

何を引き継いでいくか

「山の日」の全国大会を継続的に開催していくことを期待し、次期開催地へと引き継いでいく物品を検討し、登山や山仕事等に不可欠な物である「帽子」が採用された。

帽子をつくる

全体のフェルトが深遠なる森を表し、縁取りには木の葉をあしらひ「山」のイメージを強調している。白い羽のような飾りは、風や雲、霧、鳥のはばたきを感じさせ、華やかさを演出し頂頭部が「山」型になっているところも工夫されている。

大会をつなぐ

「山の日帽」と名付けられたこの帽子は環境省が保有し、(一財)全国山の日協議会が仲介役となり開催地から引き継がれていく。



ニリンソウコサージュ

記念式典への来場者が着装するコサージュの製作にあたり、上高地を代表する山野草のひとつである「ニリンソウ」をモチーフとすることを検討した。ニリンソウの「友情」という花言葉や二輪の花が寄り添って咲く姿に「山と人」が親しむ様子を思い浮かべ、今大会のテーマを表現した。繊細なニリンソウを再現できるものとして長野県飯田地域の伝統工芸である「飯田水引」を採用し「百花が水に引かれて流れていく」という語源の一説から山と水とのつながりにも注目し飯田水引協同組合に製作を依頼した。



「飯田水引」による再現

コサージュのデザインは、ニリンソウの外観を再現するため花と茎とのバランスに気を配りながら、湿気や風に耐え美しく着装できるようパーツの大きさや配置を調整して試作を繰り返した。特に中央のロゴマークプレートの接着にはひととき苦勞があった。製作は一点一点手作業で丁寧に作られ、繊細で優しい風合いのニリンソウと、カラフルで明るいイメージのロゴマークが調和したオリジナルのコサージュが完成した。



大会当日には皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王殿下に御着装いただくとともに、約400人の来場者全員の胸元に可憐なニリンソウが咲き誇り、会場が一体となった。コサージュは白、緑、濃桃、淡桃色の計4種類を用意し、記念品のひとつとした。



上高地記念式典来場者への記念品



県内外より上高地での記念式典にお越しいただいた皆様
に、感謝の気持ちと山への思いを込めて記念品を贈呈した。山
の恵みを表した木製記念品や協賛企業からの提供物品等全
14点をセットで用意し、記念品を手取るたびに山への思いを
抱いてもらえることを期待している。

木製記念品

山の恵みの一つである木を使い大会のロゴマークを配した信州
産の木材製品の記念品を製作するため、5月25日から6月8日まで
公募し、応募総数12企業、応募物品数32点の中から下記4点を採
用した。山や山の日についてのエピソードがあり特別感が出ること
や、持ち運びに適した大きさであること等を選定基準とした。



○漆塗りともち椀(酒井産業(株))
和の伝統技術と洋の洗練された
デザインが融合した美しい椀



○木曾ひのき小判メンバ(酒井産業(株))
木曾・奈良井宿に伝わる
ひのきの曲げわっぱ



○山の日時計(長野県木材協同組合連合会)
外枠をひのきで成形した卓上時計
文字盤に大会ロゴマークをあしらった
かわいらしいデザイン



○漆塗りマグネット(未空うるし芸)
木目を生かしたツキ板に
3色の漆塗りが施されたマグネット



協賛企業・実行委員会構成機関提供物品等

- ・ウェストンが残したクライマーズ・ブック(実行委員会)・ナノタオル(㈱finetrack)
- ・チキンラーメンとコッヘル(日清食品ホールディングス(株))・山の酒 大雪溪-日本酒-(大雪溪酒造(株))
- ・白樺の大地-菓子-(㈱信州芽吹堂)・アミノバイタルGOLDワンデーバック(味の素(株))
- ・メッシュトートバッグ・ポケットブルライトトート(㈱モンベル)・トレーディングカード(林野庁)
- ・携帯ライト・クリアファイル・ポストカード(環境省)
- ・信州松本の水(松本市上下水道局)・ピンバッジ(実行委員会)

第2回「山の日」記念全国大会の開催

- 栃木県(那須町)の紹介 -

栃木県の自然環境のあらまし

県北西部の山岳地帯が日光国立公園に指定され、標高2,578mの日光白根山を最高峰とする雄大な山々と変化に富んだ里山が多様な自然環境を形成している。大会会場となる那須町は観光と農林業の町で標高1,915mの茶臼岳が今もなお噴煙を上げ、皇室の御用邸があることから「ロイヤルリゾート那須」として知られている。

第2回「山の日」記念全国大会の概要

豊かな自然環境の特徴を最大限に活かし、「とちぎらしさ」を存分に実感できる参加・体験型の大会を目指して、平成29年8月11日に那須町文化センターで記念式典を、余笹川ふれあい公園で歓迎フェスティバルを開催する計画で、県内外の皆さんに美しい自然や豊かな食の恵み、特色ある温泉などの魅力を満喫してもらい、山の恩恵への感謝と、山を守り育てていく大切さを伝えていく。



写真: 栃木県HPフォトライブラリ

開催結果総覧

開催状況

1 大会運営

ア 期間:平成28年8月10日(水)~11日(木) イ 場所:上高地及び松本市街
ウ 来場者総数:17,360人(延べ) エ 協力員数:1,356人(延べ 市職員、県職員、ボランティア等)

2 行事詳細

期日	行事区分	会場	内容	来場者数
8月	歓迎レセプション	ホテルブエナビスタ	皇太子殿下を囲んでの懇親を深めるレセプション	130人
10日	「山の日」制定記念国際フォーラム	あがたの森文化会館	山岳ユニバーサルツーリズムの推進に関する基調講演及び事例報告	130人
8月	記念式典	上高地バスターミナル特設会場	世界で初となる「山」の祝日制定を記念し国内外に発信する式典	400人
11日	祝祭式典	まつもと市民芸術館	山の日制定を市民とともに祝い山の恩恵に感謝する式典	800人
両日	信州四方山祭りin上高地	上高地小梨平キャンプ場、徳沢キャンプ場	山の魅力や価値を身近な目線で伝える、音楽や講演などのイベント	6,900人
	信州四方山祭りin松本城	松本城公園	山の魅力や価値を身近な目線で伝える、音楽や講演などのイベント	8,100人
	木育キャラバン	JR松本駅隣接施設MIDORI松本	親子で木のおもちゃ等に触れて楽しむイベント	900人

3 HP閲覧数

418,205PV (H28.1.29~H29.1.31) (8.10:39,210PV、8.11:42,350PV)

4 関連行事数

承認件数:340件 実績:277件 約45.9万人(H29.1.31現在)

その他大会関連実績

- 大会ロゴマークの使用申請件数:110件
- 企業協賛:[資金協賛]79者 [協賛総額]4,858万円 [物品協賛]12者 [協賛規模]1,300万円相当
- 海外メディアツアー:参加海外メディア9カ国・地域(11社・媒体)(6.9~10)
- 市民等からの問い合わせ:81件(8.10~11)
- 大会利用宿泊施設:13施設 延べ313部屋(8.9~11)
- 木製記念品募集:応募32点 採用4点

第1回「山の日」記念全国大会収支

(1)収入 166,291,292円

区分	決算額(円)	説明
負担額	116,590,207	長野県・松本市負担金
協賛金	49,680,000	企業・個人協賛71件、報道特別協賛8件 地元負担金:上高地町会、上高地観光旅館組合、 北アルプス山小屋友交会、松本市アルプス観光協会
諸収入	21,085	預金利息等



(2)支出 166,291,292円

区分	決算額(円)	説明
実行委員会運営費	10,755,378	実行委員会開催費、協賛営業費
記念式典費	94,526,684	記念式典及び祝祭式典運営費、大会関係者輸送・宿泊費
記念行事費	19,764,477	信州四方山祭り運営費、国際フォーラム運営費、レセプション運営費
広報活動費	28,419,899	大会ロゴマーク制作費、広報イベント出展費、 大会ノベルティグッズ製作費、大会ホームページ制作・管理費、 広報PR費(大会中継、広報メディア制作費 等)
事務費	12,824,854	実行委員会事務局事務費



大会開催までの道程

年月	内容
S36.7	「夏の立山大集會・登山教室」山の日制定を決議
S42.7	今上天皇陛下皇后陛下御家族が上高地を御散策
H13.10.7～9	「2001世界岳都都市会議」を松本市で開催
H15.12	長野県議会から国へ意見書提出
H22.4	山岳5団体による「山の日」制定協議会が発足
H23.10.25	関東地方知事会で栃木県が「山の日」制定を提案
H23.11.20	岳都・松本「山岳フォーラム2011」開催
H24.10.3	「山の日」ネットワーク東京会議開催
H24.11.25	岳都・松本「山岳フォーラム2012」開催
H25.4	超党派「山の日」制定議員連盟(議連)発足
H25.9.9～10	議連による上高地視察研修
H25.10.30	議連が「8月12日」を候補日とする案発表
H25.11.7	議連案を再検討
H25.11.11	全国「山の日」制定協議会(全山協)設立
H25.11.16～20	岳都・松本「山岳フォーラム2013」開催
H25.11.22	議連が「8月11日」を候補日として提案
H26.1.24	議連が「国民の祝日に関する法律」改正法案を了承
H26.5.23	祝日法改正案が可決成立
H26.7.14	「信州 山の日」制定
H26.11.29～30	岳都・松本「山岳フォーラム2014」開催
H27.3.28～29	全山協主催の全国「山の日」フォーラム開催
H27.5.15	長野県・松本市・上高地町会連名で開催地誘致要望
H27.5.22	全山協臨時総会で上高地開催承認
H27.10.1	松本市に「山の日記念大会推進室」を設置
H27.11.10	長野県庁で関係者による基本計画打合せ
H27.11.28	岳都・松本「山岳フォーラム2015」開催
H27.12.22	全山協・県・市・上高地町会による準備委員会開催
H28.1.8	実行委員会設立・第1回総会開催(東京都)
H28.1.29	実行委員会第1回運営委員会開催(松本市)
H28.2.18	大会チラシ完成・配布
H28.2.29	実行委員会第2回運営委員会開催(松本市)
H28.3.4	銀座NAGANOでイベント開催
H28.3.12	安曇・大野川・奈川小と大会ロゴマークづくり
H28.3.12～13	大阪アウトドアフェスティバル
H28.4.5	報道機関向け説明会開催
H28.4.15	実行委員会第3回運営委員会開催(松本市)
H28.4.23～24	アースデイイベント(東京都)に参加
H28.4.27	上高地開山祭
H28.4.28	実行委員会第2回総会開催(東京都)
H28.5.14～15	みどりのフェスティバル(東京都)に参加
H28.6.11～12	夏山フェスタ(愛知県)に参加
H28.6.24～26	夏山フェスタ(福岡県)に参加
H28.7.1	実行委員会第4回運営委員会開催(松本市)
H28.7.6～7	大会関係者による記念式典会場調査(上高地)
H28.7.13	地域関係者への交通対策会議開催
H28.7.14～15	実行委員会第3回総会開催(上高地現地調査)
H28.7.16～18	海フェスタ(愛知県)に参加
H28.7.22	実施本部体制(スタッフ)研修会開催(松本市)
H28.7.26	大会関係者による内閣総理大臣表敬
H28.8.5	歓迎レセプションリハーサル
H28.8.6	上高地で大会事前準備
H28.8.9	式典関係リハーサル
H28.8.10	大会開幕、信州四方山祭り開催
H28.8.11	記念式典・祝祭式典を開催、無事閉幕
H28.8.25～26	各国大使館へのお礼あいさつ
H28.9.15	事務局による乗鞍岳清掃登山実施
H28.10.15	事務局による焼岳清掃登山実施
H28.12.16	実行委員会第5回運営委員会開催(松本市)
H28.12.27	実行委員会第4回総会開催、解散



山 鐘

～第1回「山の日」記念全国大会 登攀の記録～

〔概要版〕

主 催

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

協 賛



味の素(株)、あづみ農業協同組合、(有)泡の湯旅館、イオンリテール(株)東海長野カンパニー松本事業所、(株)井上、(株)エイコー、(株)王滝、上高地タクシー運営協議会、(株)カモシカスポーツ、NPO法人北アルプスブロードバンドネットワーク、北野建設(株)松本支店、キッセイコムテック(株)、キリンビール(株)長野支店、クラブツーリズム(株)、(株)小石興業、(株)好日山荘、国有林観光施設協議会、小松正幸、酒井産業(株)、佐藤直樹、(株)JTB中部松本支店、社会医療法人財団慈泉会 相澤病院、島貫仁史、松塩筑安曇野温泉協会、(有)白船荘新宅旅館、信州大学、(株)信州芽吹堂、国立研究開発法人森林総合研究所、セイコーエプソン(株)、全国天然木化粧合板工業協同組合連合会、(株)綜合印刷、大雪渓酒造(株)、(株)竹中工務店長野営業所、中部電力(株)、東京海上日動火災保険(株)、烏巨、中日本エクシス(株)八王子支店、長野県酒造組合、長野県信用組合、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会、(一社)長野県林業コンサルタント協会、(一社)長野県林業センター、日本山岳救助機構合同会社、(一財)日本森林業振興会長野支部、日本費用補償少額短期保険(株)、日本郵便(株)信越支社、ハシバテクノス(株)、東日本電信電話(株)、東日本旅客鉄道(株)、(一社)富士見町開発公社 富士見パラマリゾート、社会医療法人抱生会 丸の内病院、松本ガス(株)、松本市上下水道局、松本石匠組合、松本大学、松本ハイランド農業協同組合、(有)丸山菓子舗、(株)ヤマレコ、林業・木材製造業労働災害防止協会長野県支部、(株)わかさ出版 他2者

報道特別協賛

abn長野朝日放送、SBC信越放送、NHK長野放送局、NBS長野放送、信濃毎日新聞社、市民タイムス、TSBテレビ信州、テレビ松本ケーブルビジョン、山と溪谷社

後 援

内閣府、外務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議員会、全国市議会議員会、全国町村議会議員会、一般社団法人長野県観光機構、長野県林業団体協議会、一般社団法人松本観光コンベンション協会、松本商工会議所

協 力

松本ハイランド農業協同組合波田スタンド、JR東日本松本駅、NTT東日本、朝日村、安曇野市、アルピコ交通(株)、アルピコ交通(株)上高地営業所、アルピコ交通(株)新島々営業所、糸永正之、(一財)自然公園財団上高地支部、(一財)ピアーズさわんど、(一財)松本市文化芸術振興財団、稲核町会、上田市、大野川町会、大野田町会、大町市、大見土朗、奥田一宏、奥飛騨観光開発(株)、麻績村、学校法人東京医科大学上高地診療所、(株)BO-GA、(株)イオジャパン、(株)小石興業、(株)五千尺、上高地タクシー運営協議会、上高地帝国ホテル、関東管区警察局、木祖村観光協会、溪流荘しおり絵、(公財)日本道路交通情報センター長野センター、国土交通省長野国道事務所、佐藤帯刀、さわんど温泉旅館組合、沢渡町会、塩尻市、烏々町会、白骨温泉旅館組合、信州大学医学部付属病院、総務省信越総合通信局、高山市、筑北村、中部電力(株)松本営業所、東急REIホテル、NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ、中日本エクシス(株)、長野県梓川土地改良区、長野県議会事務局、長野県教育委員会、長野県警察本部、長野県東京事務所、長野県松本織ヶ崎高等学校書道部、長野県松本建設事務所、長野県松本合同庁舎トレッキング部、長野デザインセンター、なかわ観光協会、奈川地区町会連合会、日本アルプス観光(株)、日本山岳会信濃支部、濃飛乗合自動車(株)、のりくら観光協会、橋場町会、斐太石油株式会社平湯給油所、藤村健、防衛省陸上自衛隊、ホテル翔鳳、ホテルエナピスタ、松塩地区広域施設組合、松本広域消防局、松本市議会事務局、松本市歯科医師会、松本市松本城管理事務所、まつもと市民芸術館、松本市立博物館、道の駅風穴の里、山形村、山と溪谷社、山と自然博物館

発行日

平成29年3月1日

発行元

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会
(事務局:松本市山の日記念大会推進室)

編 集

第1回「山の日」記念全国大会記録誌編纂委員会

印刷・製本

株式会社 日本広告